

危険有害要因洗い出しカード

No : 実施日： 年 月 日 部署名： 氏名：

事故の型	墜落転落・はさまれ巻込まれ・飛来落下・（転倒・ ）
（タイトル）	
（危険源）	

（リスクイメージ）	
-----------	--

洗い出し結果	<input type="checkbox"/> 作業名・危険源（～で）	
	<input type="checkbox"/> 危険状態（誰が～する時）	
	<input type="checkbox"/> 原因（～なので） 潜在原因を検討！	
	<input type="checkbox"/> 危険事象（～する） ケガの部位・事故形態・重篤度！	

リスクの見積もり 		可能性 大	可能性 中	可能性 小
	重篤度 大	すごく心配	心配	心配
	重篤度 中	心配	心配	気になる
	重篤度 小	気になる	気になる	気になる

リスク低減措置	①	
	②	
	③	

残留リスク等 （継続検討事項）	
--------------------	--

リスク評価基準の例

要素	評価内容	判定
重篤度	死亡、失明、手足の切断等の重篤災害	大
	上記以外の休業災害・身体障害等級 10 級以下（*）	中
	不休災害	小
可能性	発生が確実 <ul style="list-style-type: none"> ● 誰もが逃げられない。 ● 例えば、日常的行動などで危険有害要因に頻繁に立ち入ったり接近したりする。 	大
	発生の可能性あり <ul style="list-style-type: none"> ● 逃げられないことがある。 ● 例えば、点検・清掃などで危険有害要因に立ち入ったり、接近することがある。 	中
	発生の可能性はほとんどない <ul style="list-style-type: none"> ● 殆ど逃げられる。 ● 例えば、修理・メンテナンスなどで危険有害要因に立ち入ったり、接近したりすることはごくわずかである。 	小

*労働者災害補償保険法則第 14 条に基づく則別表第 1 の障害等級

リスクレベルと判定結果の例

リスクレベル	判定結果	措置の目安
すごく心配	直ちに解決すべき、又は重大なリスクがある	措置を講ずるまで作業を停止する必要がある。十分な経営資源（費用と労力）を投入する必要がある
心配	速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクがある	措置を講ずるまで作業を行わないことが望ましい。優先的に経営資源（費用と労力）を投入する必要がある
気になる	必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある	必要に応じてリスク低減措置を実施する